

## 授業科目

## 英語V (五十嵐 紀子)

|                   |      |     |       |                               |
|-------------------|------|-----|-------|-------------------------------|
| 担当教員名<br>五十嵐 紀子 他 | 対象学年 | 3・4 | 対象学科  | 理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報 |
|                   | 開講時期 | 後期  | 必修・選択 | 選択                            |
|                   | 単位数  | 1   | 時間数   | 30                            |

## ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎     | ◎     | ◎     | ◎  | ◎     |

## 授業の概要

英語論文を卒業研究で読みたい者、あるいは、大学院に進学してさらに研究を進めたい者を対象とし、主に、論文のアブストラクトを読み取る訓練をする。各自の研究の関心事に合わせてアドバイスしながら、必要な英語の文献にたどり着くための様々な方法を紹介する。限られた時間の中で必要な情報を選択できる

## 授業の目的

自らの関心のある英語論文を探し、その概要を素早く把握する方法を学ぶ  
読んだ英語論文の内容を、自分の研究テーマと関連づけて、ゼミなどで発表する方法を学ぶ

## 学習目標

1. 文献を検索することが出来る
2. 抄録を読んで、自分の求めている文献かどうかを判断することが出来る
3. 論文を読んで、その内容を自分の言葉でまとめることができる
4. 英語論文で頻出する表現に慣れる

## 授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題   | 学習方法・学習課題・備考  | 担当教員   |
|----|--------------|---|--------|
| 1  | 研究のための英語とは何か | ・研究のためになぜ英語が必要なのか<br>・そもそも研究とは何か                                    | 五十嵐 紀子 |
| 2  | 研究に必要な関連情報とは | ・サンプル論文を例に、関連情報とは何か考える  | 五十嵐 紀子 |
| 3  | 論文の構造の理解     | ・サンプル論文を使いながら、論文を構成するもののそれぞれの働きを知る<br>・論文の構造 (IMRAD) を意識して論文の概略をつかむ | 五十嵐 紀子 |
| 4  | 英語論文検索方法     | ・調べたい内容のキーワードに対応する英語を知る<br>・英語論文を検索するサイトの紹介<br>・その他便利なツールの紹介        | 五十嵐 紀子 |
| 5  | 英語論文検索方法     | ・自分の関心のあるテーマに対し読むに値しそうな論文を見つける                                      | 五十嵐 紀子 |
| 6  | 英語論文の抄録を読み取る | ・選んだ論文がどんな研究なのか説明する   | 五十嵐 紀子 |
| 7  | 英語論文に特有の表現   | ・選んだ論文中の、共通して知っておくべき論文用語、表現を抽出し共有                                   | 五十嵐 紀子 |
| 8  | 英語論文に特有の表現   | ・選んだ論文中の、共通して知っておくべき論文用語、表現を抽出し共有                                   | 五十嵐 紀子 |
| 9  | 英語論文に特有の表現   | ・パターンを当てはめる練習   | 五十嵐 紀子 |
| 10 | 英語論文に特有の表現   | ・抄録を書いてみる練習   | 五十嵐 紀子 |
| 11 | 論文の様々な表記方法   | ・図表、数字、記号などの意味を知る<br>・文献リストの書き方                                     | 五十嵐 紀子 |
| 12 | レジュメの作り方     | ・ゼミなどで論文を紹介する際のポイントをおさえる<br>・レジュメの一般的な形式に沿って作ってみる                   | 五十嵐 紀子 |
| 13 | レジュメの作り方     | ・レジュメを作る<br>・ディスカッションに発展させることができそうな問いを立てる                           | 五十嵐 紀子 |
| 14 | 発表           | ・作成したレジュメをもとに発表する<br>・他のメンバーの発表に対し、質問したり、感想を述べる                     | 五十嵐 紀子 |
| 15 | まとめ          | 演習  | 五十嵐 紀子 |

## 使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|------|----|-----|-----|-----|----|-----|
| 教科書  |    |     |     |     |    |     |

|        |        |  |  |  |  |         |
|--------|--------|--|--|--|--|---------|
| 参考書    |        |  |  |  |  |         |
| その他の資料 | ハンドアウト |  |  |  |  | 適宜、配布する |

### 評価方法

授業参加：70%

レジュメ：30%

授業参加：課題への取り組みの状況やディスカッションへの参加など

レジュメ：ポイントを押さえて、読んでない人にも要点が伝わり、ディスカッションにつながる問いを立てることができたか

### 履修上の留意点

英語や、研究に対する意欲・関心を持つ者であれば、英語の得手・不得手は問いません。

PCとLANケーブルを持参して下さい。

### オフィスアワー・連絡先

原則として、メールでアポイントをとってから（日時のお約束をしてから）いらして下さい。

メールでの質問や相談は、いつでもOKです。

研究室：J406（J棟 4F）

メール：igarasi@nuhw.ac.jp